

「滝川市教育推進計画」概要版 平成 24 年 5 月

～滝川市の目指すべき教育のすがた～

- 策定経緯：教育基本法の改正により教育の振興のための施策に関する基本的な計画を、市町村は、定めるよう努めることが規定されています。
- 策定目的：本市教育の中・長期的な展望に立ち、「教育のまち たきかわ」を誇りとする、更なる深化・充実に努めるため策定しました。
- 目指すべき教育のすがた

今後 10 年先を見据えた教育のすがたを、2 つの基本理念としてまとめました。

【学校教育】社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く生きる力を育成する。

【社会教育】子どもから高齢者まで健やかに充実した人生を送ることができ、生涯学習環境を作る。

基本理念と基本目標 平成 24 年度～33 年度

1 未来を拓く「たきかわっ子」の育成

- 確かな学力や人と人の関係づくりの基礎となるコミュニケーション能力など、社会で生きていくために必要な基礎的・基本的な資質と能力を育てます。
- 自立の精神を育み、自らの夢や希望を実現していくこととする主体性と行動力を育てます。
- 豊かな感性を育み、生命を尊重し、人を思いやる心や公共心、規範意識や倫理観などを育てます。
- 郷土の自然、歴史、文化、産業への理解を深め、将来の滝川を担っていくこととする意識を育てます。

2 誰もが学び、誰でも参加のできる環境づくり

- 子どもから高齢者までの生涯各期における自主的な学習活動を支援し、心豊かな人生が送れる生涯学習社会を実現します。
- 地域文化の継承と創造を担う人材を育成し、市民主体の文化芸術活動を推進します。
- スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、健康な心と体づくりを推進します。
- 学習意欲に応え、学びを通じ交流と活動が生まれる社会教育施設を充実します。

事業項目 平成 24 年度～28 年度

I 知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む

- (1) 確かな学力の育成
 - ① 学力向上プランの推進
 - ② 指導方法の工夫改善の推進
 - ③ 外国語教育の充実
 - ④ 少人数学級実践研究事業の推進
 - ⑤ 学校サポート事業の推進
 - ⑥ 学習成果発表の充実
 - ⑦ 家庭学習の充実
- (2) 豊かな人間性の育成
 - ① 道徳教育の推進
 - ② 心の教育推進事業の充実
 - ③ ボランティア精神を養う活動の推進
 - ④ チャリア教育の推進
 - ⑤ 読書活動の充実
 - ⑥ 郷土の自然・文化等を活かす教育の推進
- (3) 健やかな体の育成
 - ① 食育の推進
 - ② 体力・運動能力の向上
 - ③ 歯科など保健指導の推進

II 子どもの学びを支える教育環境を整える

- (4) 意欲と指導力のある教職員の育成
 - ① 指導主事・学校訪問指導の充実
 - ② 学校評価の推進
 - ③ ICT を活用した教職員の授業力の向上
 - ④ 教職員研修・研究の充実
- (5) 安全安心な学校づくりの推進
 - ① 小・中学校の耐震化の促進
 - ② 小・中学校改築等施設整備の推進
 - ③ 学校給食施設整備の推進
 - ④ 登下校の安全対策の推進
- (6) 市立高等学校の充実
 - ① 市立高校の将来ビジョンの策定
 - ② 進路サポートの充実
 - ③ 国際理解教育の推進
 - ④ 高大連携の拡充
- (7) 特色と魅力ある学校づくりの推進
 - ① 学校の魅力づくり事業の推進

III 多様な教育的支援の充実を図る

- (8) 特別支援教育の推進
 - ① 個に応じた支援の充実
 - ② 通級指導教室の充実
- (9) 不登校等問題行動のある児童生徒への支援の充実
 - ① 学校適応指導教室運営の充実
 - ② 教育相談体制の充実

IV 学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす

- (10) 地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実
 - ① 学校支援地域本部事業の充実
 - ② 青少年の非行防止活動の推進
 - ③ 家庭教育支援事業の充実
- (11) 子どもに関わる施策や活動との連携
 - ① 幼稚園・保育所・小学校の連携の推進
 - ② 幼稚園児の個別の教育支援の充実
 - ③ 子育て支援施策との連携

V 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える

- (12) 「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進
 - ① 青少年活動の支援
 - ② 青年活動の推進
 - ③ 高齢者活動の推進
 - ④ 生涯学習情報発信
 - ⑤ グループ・サークル活動の支援
- (13) 健康な心と体を養うスポーツ活動の推進
 - ① スポーツ・レクリエーション活動の支援
 - ② 競技スポーツの振興充実
 - ③ 子どもに体力づくり事業の充実
- (14) 文化・芸術活動の創造・育成の支援
 - ① 市民主体の文化・芸術活動の支援
 - ② 優れた芸術鑑賞機会の拡充
 - ③ 文化・芸術活動を担う人材育成の推進
 - ④ 陶芸センター活動の充実
- (15) 文化財の保護・活用の推進
 - ① 文化財の調査と整備の推進
 - ② 文化財の活用推進
- (16) 図書館活動の充実
 - ① 学習拠点としての図書館の推進
 - ② 子ども読書活動の推進
- (17) 博物館活動の充実
 - ① 博物館活動の充実
 - ② 岩崎英遠芸術の振興
- (18) 社会教育施設の整備充実
 - ① 社会教育施設の整備充実

乳幼児を持つ家庭での読書活動状況調査結果

1.調査の目的

乳幼児期における家庭での読書がその後の子どもの読書習慣の形成に大きく影響を与えることから、ブックスタートを始めとした乳幼児期の読書支援の必要性を検証するため、乳幼児を持つ家庭での読書活動状況を把握し、「滝川市子どもの読書活動推進計画」の推進に反映させることを目的に調査を実施した。

2.調査の方法

保健センターで実施される4・5か月児、9・10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児の乳幼児健診及び1歳児、2歳6か月児、3歳6か月児の歯科検診を受診した乳幼児の保護者に対して、図書館職員が聞き取り方式で調査を行った。

3.調査対象

①受診対象人数

4・5か月児 17名、9・10か月児 19名、1歳児 25名、1歳6か月児 19名、2歳児 30名、2歳6か月児 23名、3歳児 25名、3歳6か月児 27名 計 185名

②調査人数

4・5か月児 13名、9・10か月児 13名、1歳児 11名、1歳6か月児 22名、2歳児 28名、2歳6か月児 13名、3歳児 24名、3歳6か月児 18名 計 142名

※受診率 76.8% 回答率 100.0%

4.調査日

平成25年9月26日（1歳児）、10月2日（2歳6か月児）、4日（4・5か月児）、8日（9・10か月児）、11日（1歳6か月児）、21日（2歳児）、24日（3歳6か月児）、31日（3歳児）

5.調査票

別紙のとおり

6.調査結果

①結果概要

対象となった家庭では、8割弱が子ども1人と2人兄妹で、その割合はほぼ半々である。

絵本の所有状況は、8割弱の家庭で30冊以下であるが、1歳未満の子どもの家庭では0冊という事例もわずかながらあった。

読み聞かせは、9割弱の家庭で行われており、そのうち半数は毎日もしくは、週3～4回の頻度である。しかし1歳未満では「全くしていない」、「月1～2回」の回答が多くなっており、この時期の読み聞かせは、あまり活発ではない。

読み聞かせ開始時期は、1歳未満が7割で、そのなかでは3割強が「4か月～7か月」で最も多く、「0か月～3か月」が3割弱であった。また、「1歳」という回答も25件あり、節目のタイミングで読み聞かせを始めたケースも多い。

読み聞かせの主体は、「母親」が5割で最も多く、次いで「父親」が2割強、「兄妹」と「祖父母」各1割強となった。

絵本の調達手段は、3割が「書店・通販で購入」で、「もともと家にあった」、「友人・親戚からもらう」が2割強で、「図書館から借りる」は17%に留まった。

読み聞かせをした理由やきっかけは、「子どもが喜ぶ」、「親子のスキンシップ」が各ほぼ2

割、「知育のため」、「本好きになってほしい」、「心が豊かになる」が各 16%程度となった。

1 歳までは、「親子のスキンシップ」が 1 位であったが、それ以降では、「子どもが喜ぶ」が上位となり、成長につれて、子どもの反応が豊かになることが保護者の支えとなっているのうかがえる。また「本好きになってほしい」と「知育のため」は、年齢が上がると増加する傾向がある。

読み聞かせをしていない理由としては、「忙しい」が 3 割弱、「まだ早い」が 2 割強、「すぐに飽きてしまう」が 2 割弱で、「絵本をもっていない」は 0 件であった。特に 1 歳 6 か月児まででは、「まだ早い」と「忙しい」が多くを占めており、育児で余裕がない中で、読み聞かせも早いと考えている保護者の姿が浮き彫りとなった。

その他の意見としては、「絵本をなめてしまう・やぶいてしまう」、「子どもが自分で見ているから」が各 2 件、「絵本のことを考えたことがない」、「どれくらいの年齢から読んでいいかわからない」、「走り回って聞かない」が各 1 件ずつあった。これについては、読み聞かせに関する情報を提供することで、開始に踏み切るケースも多いものと考えられる。

読み聞かせに必要なサービスとして求められるものは、1 位が「ブックスタート」、次いでほぼ同数で「年齢に応じた絵本のアドバイス」となり、この 2 項目で全回答の 6 割以上を占め、読み聞かせのスタートや継続に、これらが強く求められていることがうかがえる。一方、「読み聞かせ会の開催」、「読み聞かせの仕方のアドバイス」、「図書館の絵本の充実」についての要望は 1 割強もしくはひとケタであり多くはない。これは、すでに読み聞かせ会が開催されていることや、図書館の絵本蔵書が評価されていることによると考えられる。特になしも 13 件あった。その他の意見としては、「健診時の読み聞かせ」、「年齢毎で絵本がほしい」、「健診で本が借りられる」、「初めて母になった人への講演会」などが各 1 件ずつあった。

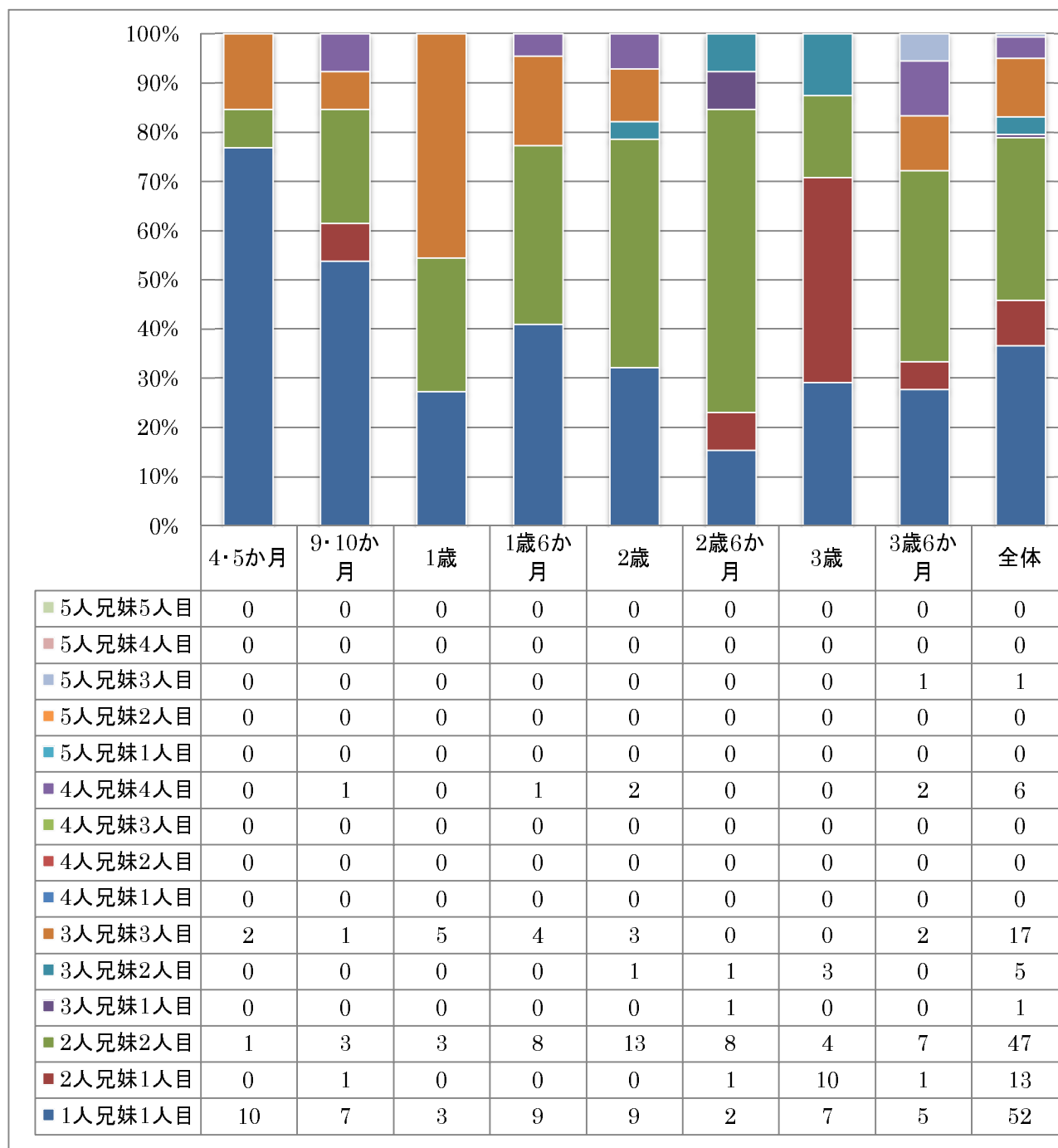
これらを総合すると、読み聞かせは多くの家庭において、比較的高い頻度で行われているものの、子どもの成長段階に合わせた絵本の選定には不安がある姿が明らかになった。加えて、読み聞かせ実施の後押しや継続の支援として、「ブックスタート」が強く望まれていることが分かった。

一方、絵本の調達手段として、購入がトップで、図書館が下位にあることは、図書館を利用することで、1 万 5 千冊の絵本蔵書から、年齢に合わせた選定・調達をアドバイスを受けながら無料で行えるという、図書館の情報が行き届いていないことが考えられ、現在実施している健診時の出張おはなし会などの取組み、出生届提出時での情報提供の強化など、関係セクションと連携した継続的な取組みが必要である。

また、乳児期初期における読み聞かせが、あまり活発ではないことについては、読み聞かせを行っていない理由で「忙しい」、「まだ早い」が上位に挙げられていることから、これらの支援や開始時期などの情報提供を行うことで改善されることが想定され、図書館のみならず子育てに関するセクションでの横断的な取組みが必要と考えられる。

②設問別結果

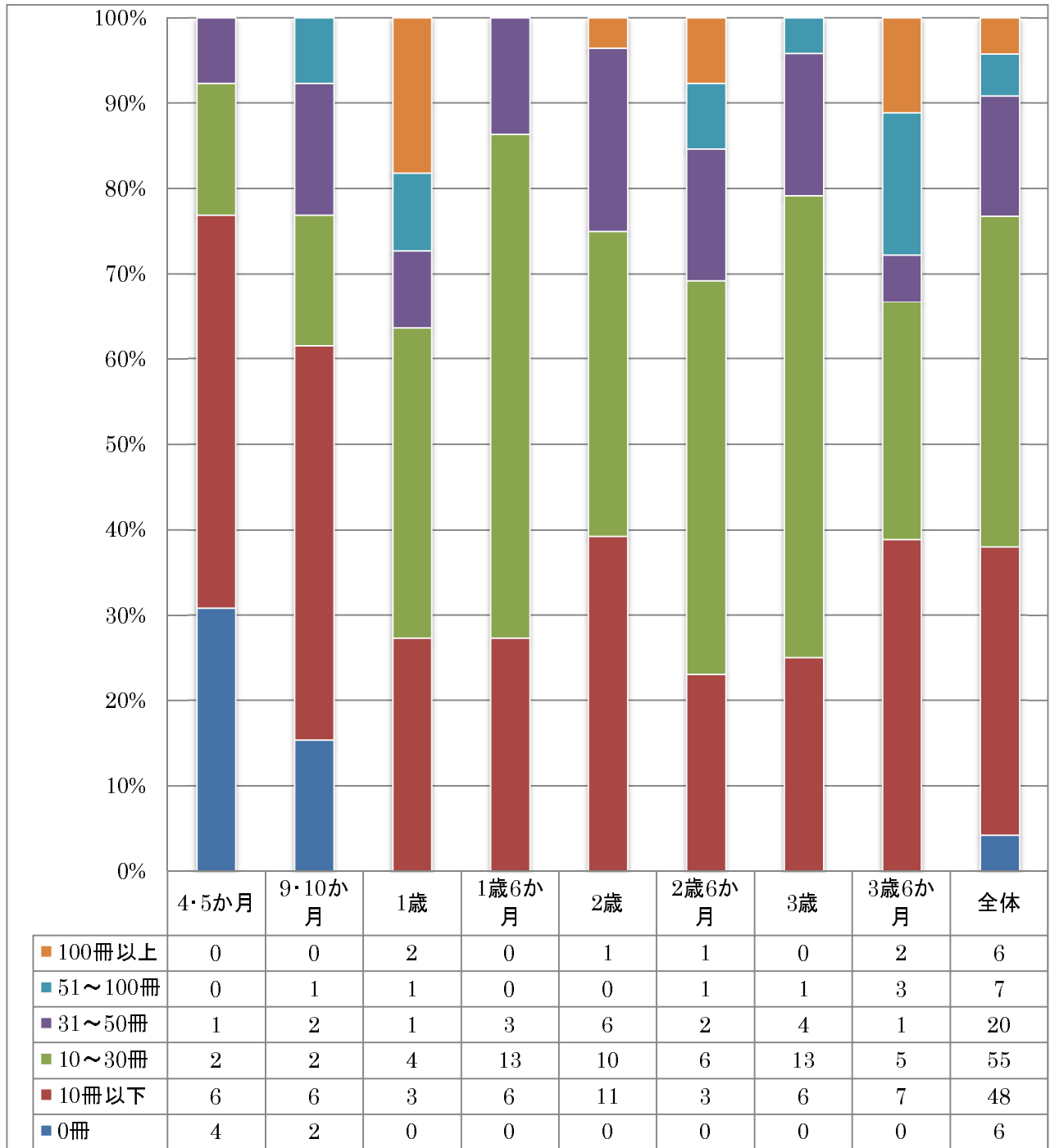
設問 1 健診を受診されるお子さんは何人きょうだいの何人目ですか？（単回答）



兄妹については、「1人兄妹1人目」が52件で37%（回答数計に対する率：以下同じ）、「2人兄妹2人目」が47件で33%となり、1人っ子と2人兄妹がほぼ同数となった。1歳未満では、「1人兄妹1人目」が最も多く、それ以降では1歳6か月を除いて、兄妹がいるという回答が多くなった。

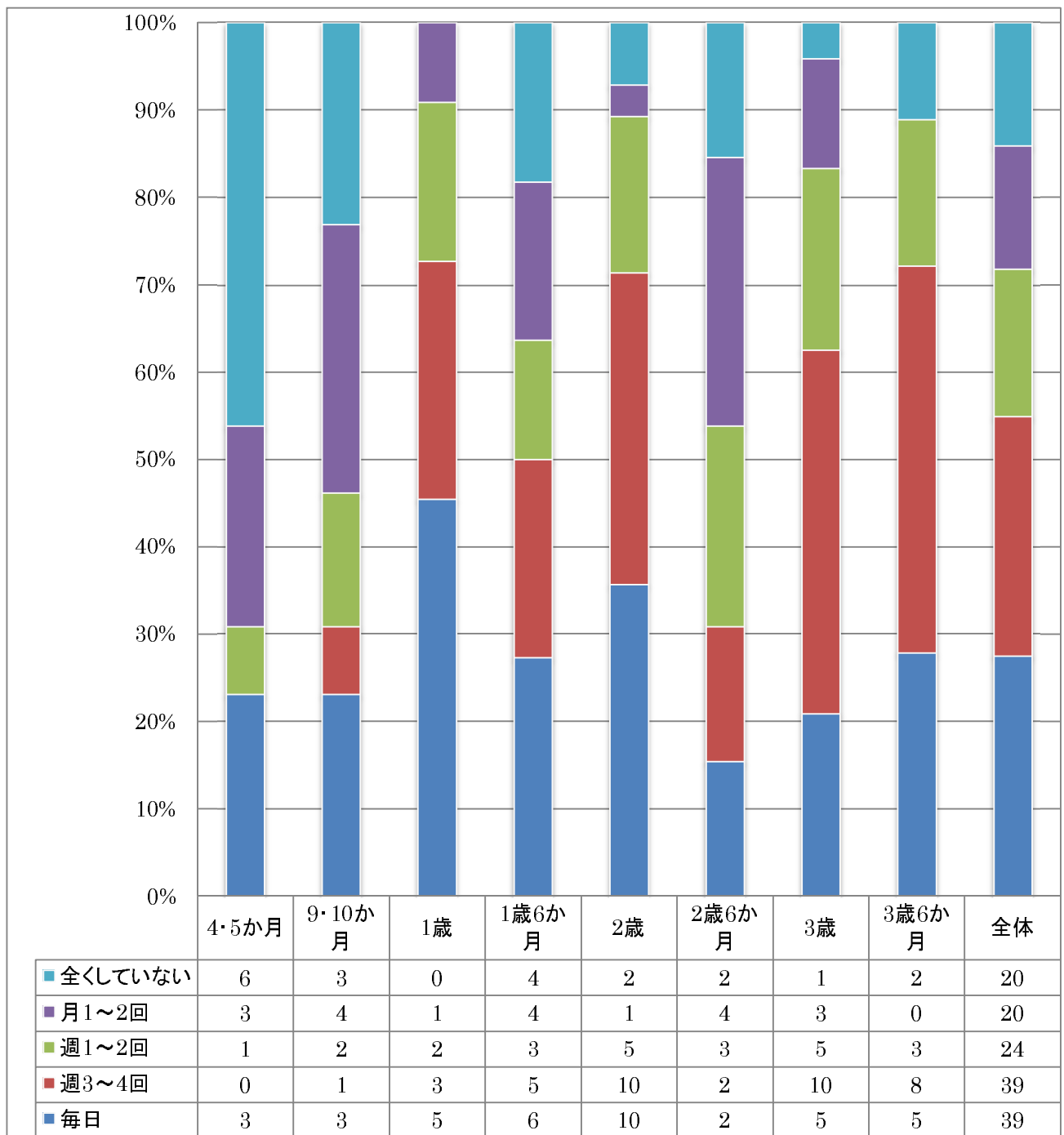
また、4人兄妹という回答が6件あったほか、3歳6か月では5人兄妹という回答もあった。

設問2 お家に絵本はありますか？（単回答）



絵本の有無は、「10~30冊」が55件39%、次いで「10冊以下」が48件34%であったが、「100冊以上」という回答も6件ある一方で、「0冊」も6件あった。この回答は、1歳未満のみであり、年齢が上がると、所有冊数が増える傾向にある。これは、年齢とともに絵本が蔵書として蓄積されていくことによるものと思われる。

設問3 ご家庭でお子さんに読み聞かせをしていますか？(単回答)

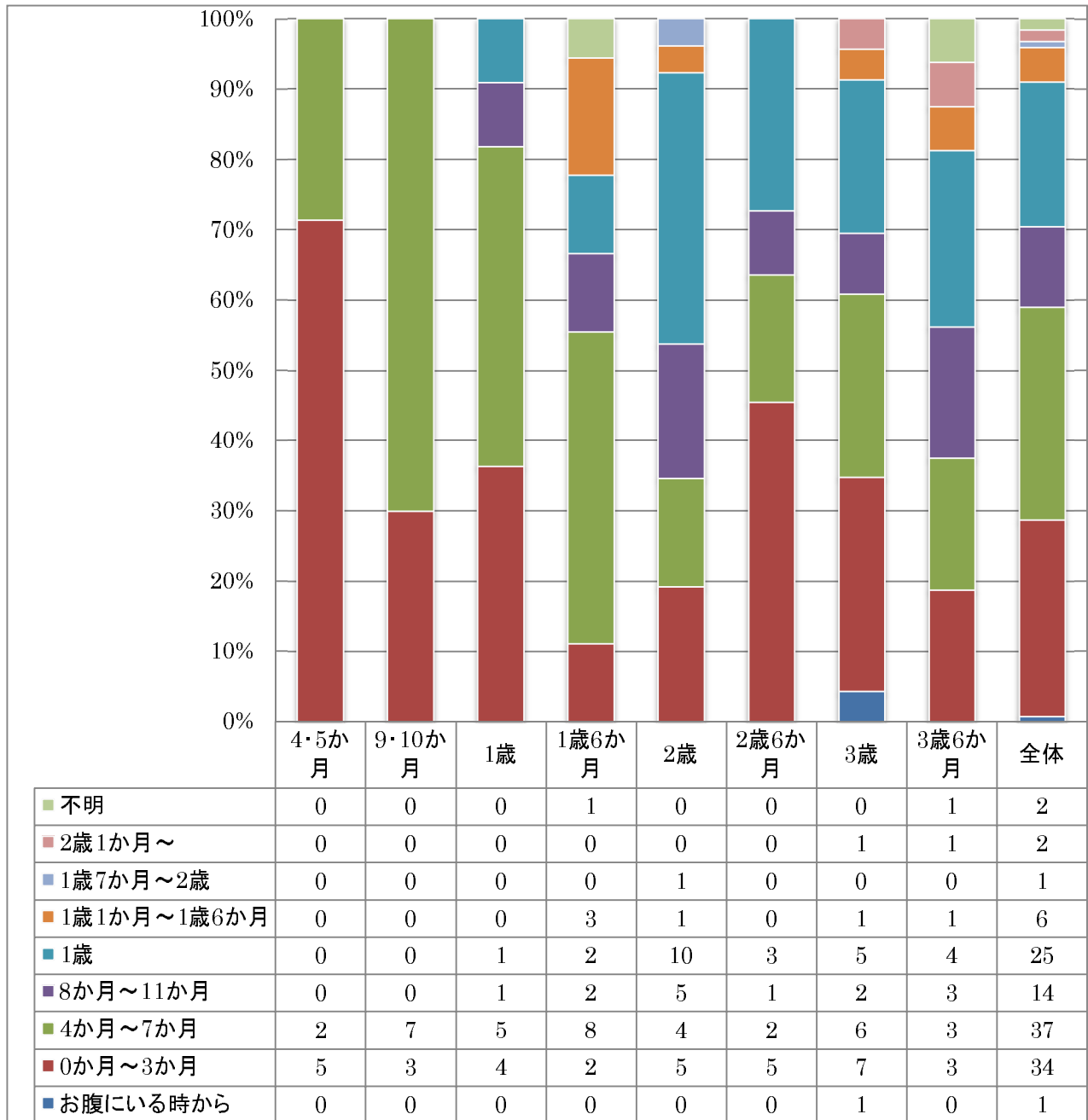


読み聞かせ実施の有無は、「実施」の計が122件86%、「していない」20件14%で多くの家庭で読み聞かせが行われていることがわかる。実施頻度は、「毎日」と「週3~4回」が39件27%で同数となり、半数以上が高い頻度で読み聞かせを行っていることがわかる。

しかし、1歳未満では「全くしていない」、あるいは「月1~2回」の低頻度の回答が多くなっており、この時期の読み聞かせが、あまり活発でないことがうかがえる。

一方、1歳以上では、「毎日」と「週3~4回」の回答が多いものの、「全くしていない」あるいは「月1~2回」の回答も複数あり、分極化している。

設問4 あなたがお子さんに初めて読み聞かせをしたのはいつ頃ですか？(単回答)

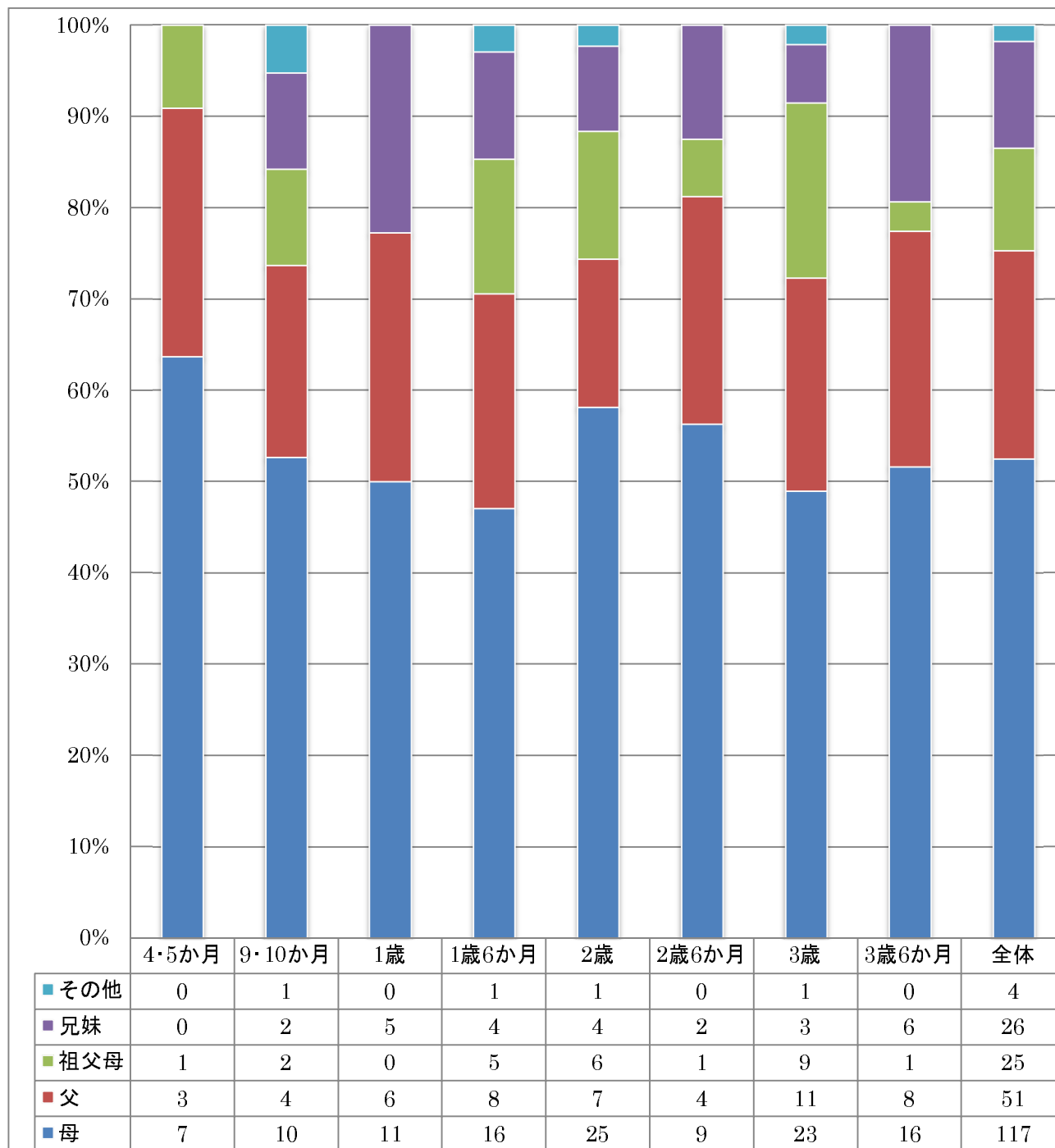


読み聞かせ開始時期は、1歳未満が85件70%にのぼり、そのなかで「4か月～7か月」の回答が37件30%で最も多く、次いで「0か月～3か月」の34件28%であった。「出産前」という回答も1件あった。

「1歳」という回答は25件あり、1歳の節目というタイミングで読み聞かせを始めたケースも多いことがうかがえる。

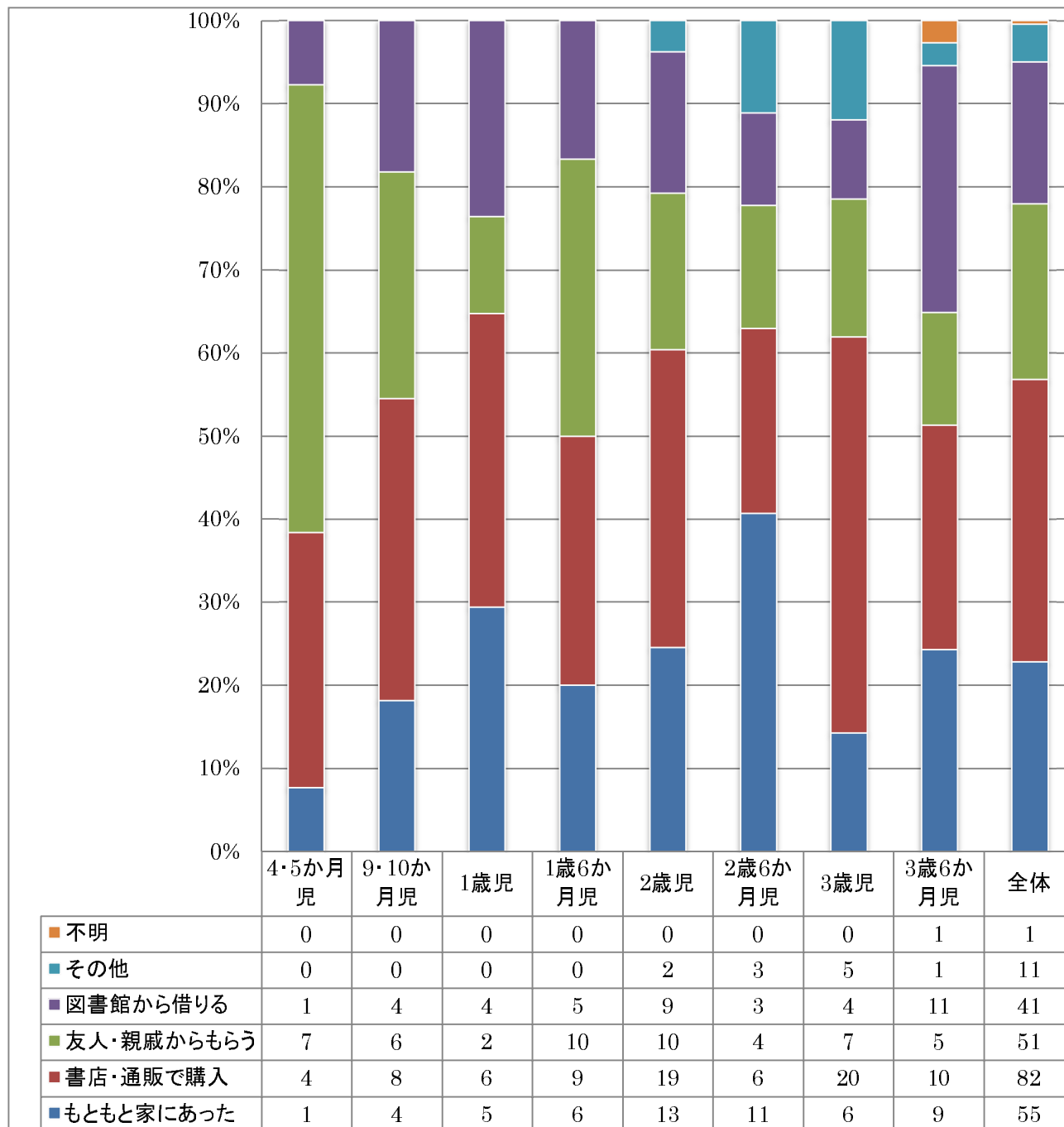
1歳以降では、読み聞かせを始める時期が遅くなる傾向が見受けられるが、これは出生から時間が経過し記憶があいまいになったことや、問1での結果にあるように、他の兄妹がいることで、読み聞かせの時間が取れなくなっていることが考えられる。

設問5 主に読み聞かせをされるのは誰ですか？（複数回答可）



読み聞かせの主体については、全体および各年齢でも、「母親」が最も多く、「父親」、「兄妹」、「祖父母」と続き、年齢別でもこの傾向に大きな違いは見られない。
 ただし、4・5か月では兄妹がいない事例が多く、兄妹がいても年齢が低いことが考えられることから、兄妹が0となっている。
 その他としては、「叔母」3件、「保育所」1件の回答があった。

設問6 読み聞かせに使用する絵本はどのように用意していますか？（複数回答可）

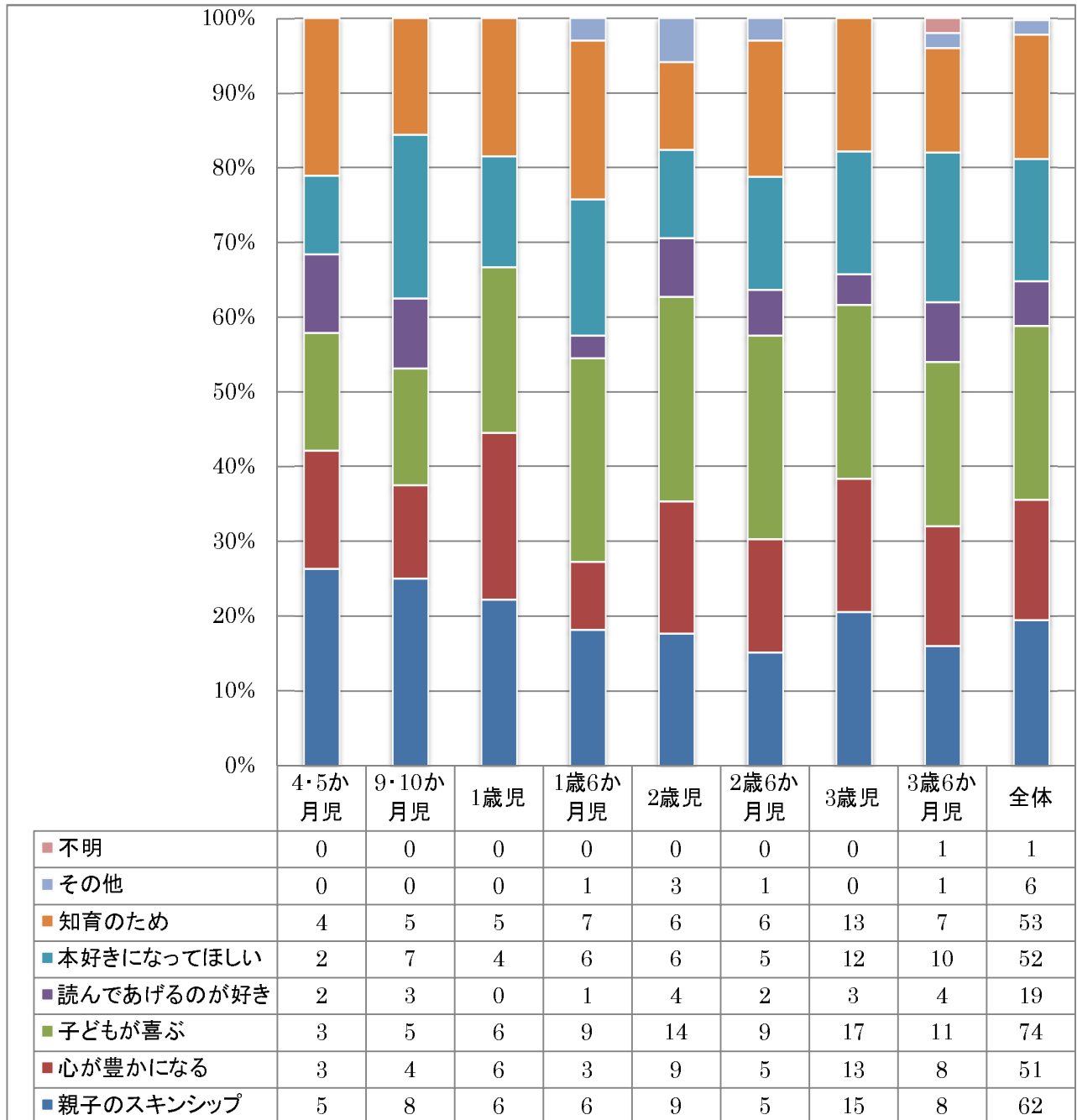


絵本の調達手段は、「書店・通販で購入」82件34%が最も多く、「もともと家にあった」55件23%、「友人・親戚からもらう」51件21%、「図書館から借りる」41件17%となった。年齢別でみると、4・5か月児と1歳6か月児では「友人・親戚からもらう」が1位となった。

「図書館から借りる」の回答は、3歳6か月児で1位になったほかは、下位にとどまっており、特に4・5か月児では1件であった。これは4・5か月段階では、子どもの成育が十分ではないため、必要な場合以外の外出がしづらいことによるものと考えられる。

その他の回答としては、「保育所・幼稚園で借りる・もらう」が8件、「学校で借りる」、「トドックでもらう」（コープさっぽろが実施する無料絵本配本サービス）、「スマホの読み聞かせアプリ」が各1件あった。

設問7 あなたがお子さんに読み聞かせをした理由やきっかけは何ですか？（複数回答可）

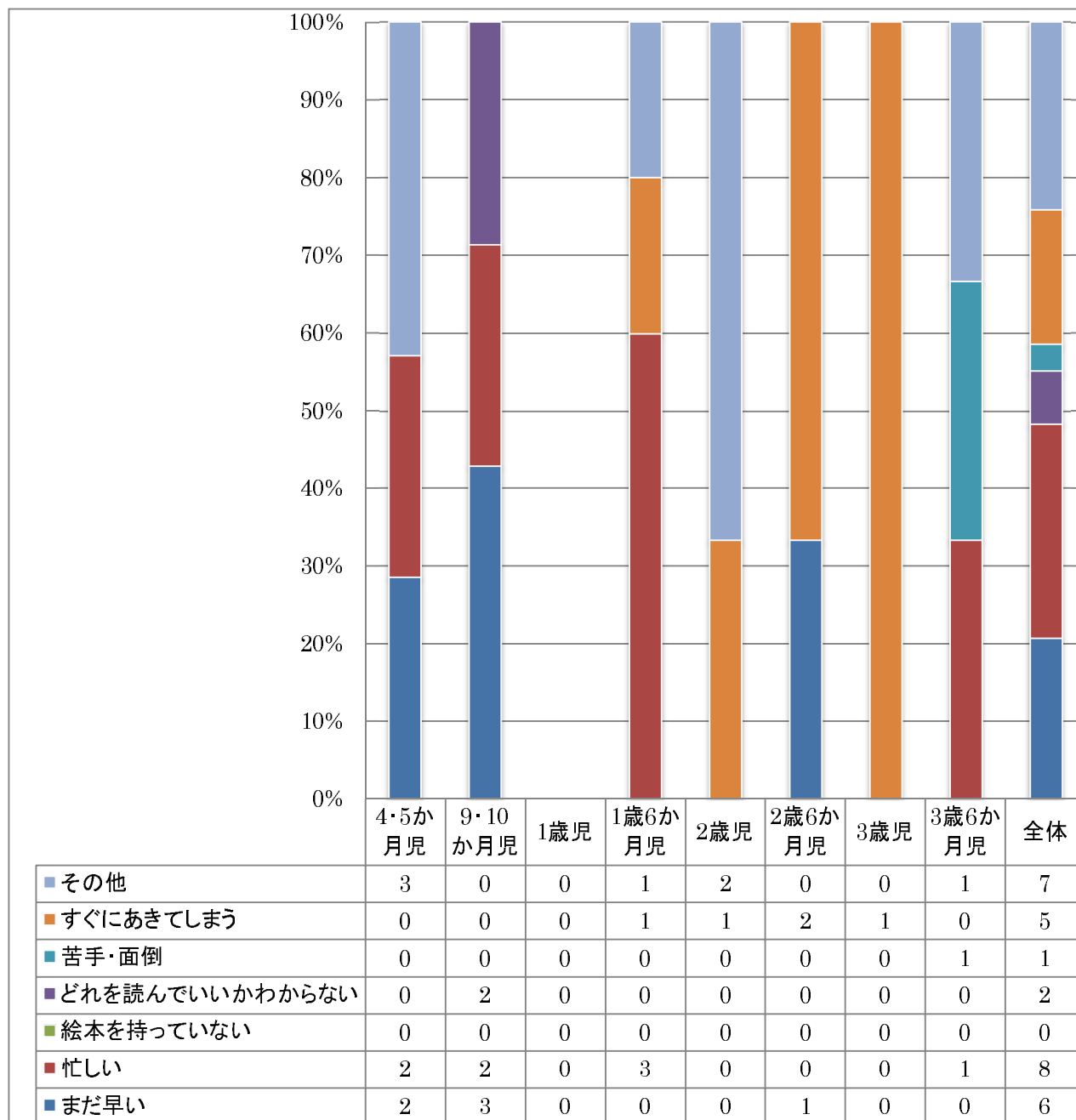


読み聞かせのきっかけや理由として、「子どもが喜ぶ」が74件23%、「親子のスキンシップ」が62件19%、「知育のため」53件17%、「本好きになってほしい」52件16%、「心が豊かになる」51件16%となった。

1歳までは、「親子のスキンシップ」がいずれも1位であったが、それ以降では、「子どもが喜ぶ」が1位(1歳児はスキンシップと心が豊かになる、子どもが喜ぶがそれぞれ6件で同数)で、成長につれて、子どもの反応が豊かになることが保護者の支えとなっていることがうかがえる。また「本好きになってほしい」と「知育のため」は、年齢が上ると増加する傾向を示している。

その他としては、「子どもが本好き」が2件、「子どもが自分で絵本を見ていた」、「上の子によんでいた」、「上の子と一緒に見ている」などが各1件ずつあった。

設問8 あなたが読み聞かせをしていない理由は何ですか？（複数回答可）

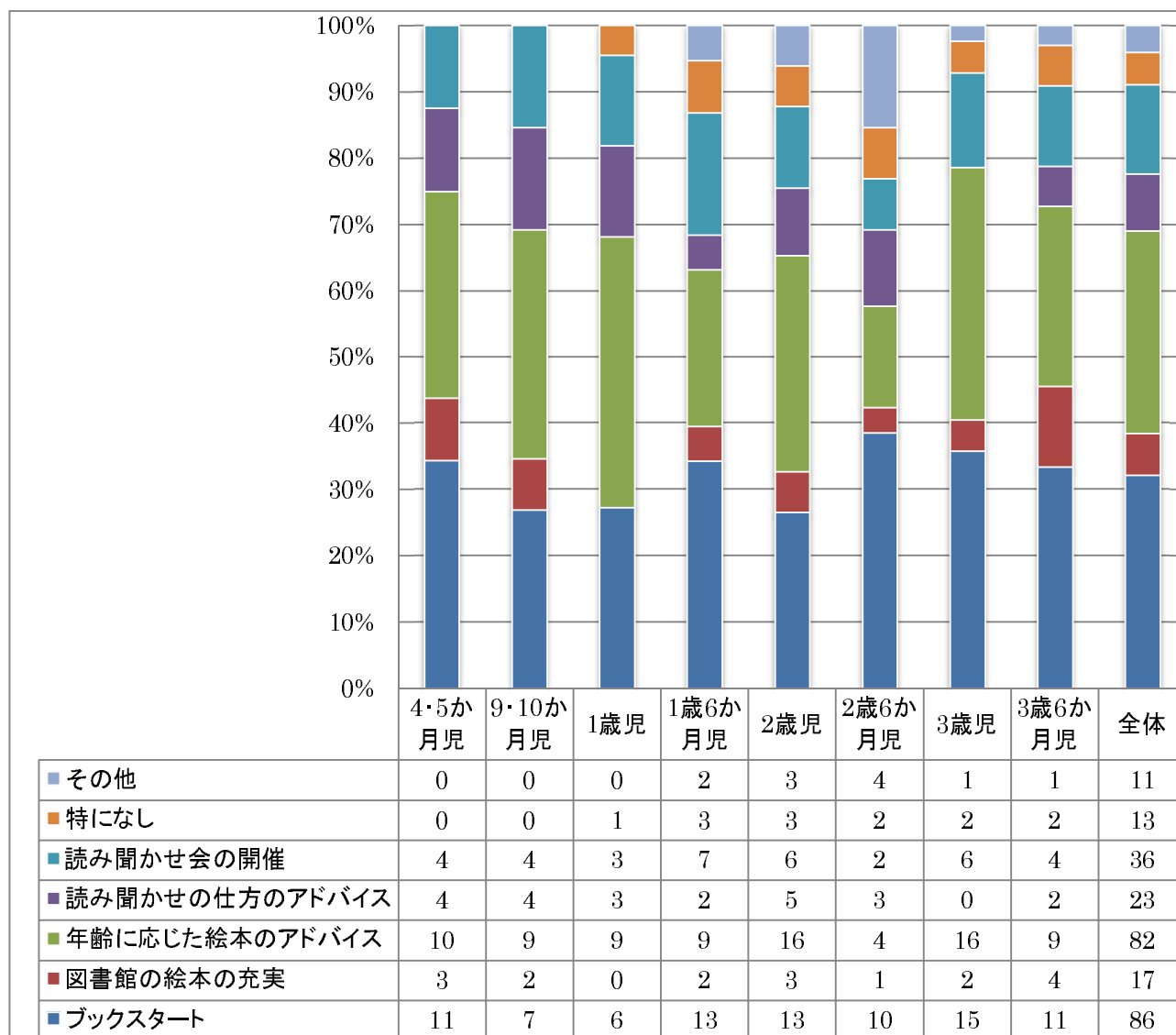


読み聞かせをしていない理由としては、「忙しい」が8件28%、「まだ早い」が6件21%、「すぐに飽きてしまう」5件17%で、「絵本を持っていない」は0件であった。

特に1歳6か月児まででは、「まだ早い」と「忙しい」が多くを占めており、育児で余裕がない中で、読み聞かせも早いと考えている保護者の姿が浮き彫りとなった。

その他の意見としては、「絵本をなめてしまう・やぶいてしまう」、「子どもが自分で見ているから」が各2件、「絵本のことを考えたことがない」、「どれくらいの年齢から読んでいいかわからない」、「走り回って聞かない」が各1件ずつあった。

設問9 読み聞かせを始めたり、続けたりするためにはどんなサービスがあるとよいですか？
 (複数回答可)



読み聞かせに必要なサービスとして求められるものとして、1位は「ブックスタート」の86件32%、次いで「年齢に応じた絵本のアドバイス」82件31%で、全回答の6割となり、読み聞かせのスタートや継続に、この2項目が強く求められていることがうかがえる。一方、「読み聞かせ会の開催」36件13%、「読み聞かせの仕方のアドバイス」23件9%、「図書館の絵本の充実」17件6%についての要望はあまり多くはない。これは、すでに読み聞かせ会が開催されていることや、図書館での絵本蔵書が評価されていることによると考えられる。特になしも13件5%あった。

その他の意見としては、「健診時の読み聞かせ」、「年齢毎で絵本がほしい」、「健診で本が借りられる」、「初めて母になった人への講演会」などが各1件ずつあった。

乳幼児を持つ家庭での読書活動状況調査

☆このアンケートは、「滝川市子どもの読書活動推進計画」を策定するために、皆様のご家庭での読書に対する取り組みやお考えを伺うものです。
☆次の質問の回答にあてはまる番号には○、または記述をお願いします。

- 問1 健診を受診されるお子さんは何人きょうだいの何人目ですか？ ()人 きょうだいの()人目
- 問2 お家に絵本はありますか？ (約 冊くらい)
- 問3 ご家庭でお子さんに読み聞かせをしていますか？
①毎日している ②週3~4回 ③週1~2回 ④月1~2回 ⑤全くしていない
- 問4 問3で①②③④と答えた方にお聞きします。あなたがお子さんに初めて読み聞かせをしたのはいつ頃ですか？ (才 か月頃)
- 問5 問3で①②③④と答えた方にお聞きします。主に読み聞かせをされるのは誰ですか？(複数回答可)
①母 ②父 ③祖父母 ④兄弟 ⑤その他()
- 問6 問3で①②③④と答えた方にお聞きします。読み聞かせに使用する絵本はどのように用意していますか？(複数回答可)
①もともとお家にあった本 ②書店や通販等で購入 ③友人や親戚からもらう
④図書館から借りる ⑤その他()
- 問7 問3で①②③④と答えた方にお聞きします。あなたがお子さんに読み聞かせをした理由やきっかけは何ですか？(複数回答可)
①親子のスキンシップになる ②絵本を読んであげると心が豊かになると思った
③絵本を読んであげると子どもが喜ぶため ④絵本を読んであげるのが好きのため
⑤本好きになってほしいため ⑥絵本で知育ができると思った
⑦その他()
- 問8 問3で⑤と答えた方にお聞きします。あなたが読み聞かせをしていない理由は何ですか？(複数回答可)
①まだ早いと思った ②忙しくて読む時間がない ③絵本を持っていない
④どんな絵本を読んであげたらよいのかわからない ⑤読むのが苦手・面倒
⑥子どもがすぐにあきてしまう ⑦その他()
- 問9 読み聞かせを始めたり、続けたりするためにはどんなサービスがあるとよいですか？(複数回答可)
①ブックスタート ②図書館の絵本の充実 ③年齢に応じた絵本選びのアドバイス
④読み聞かせの仕方についてのアドバイス ⑤読み聞かせ会の開催 ⑥特になし
⑦その他()

※ブックスタート…生まれてきた赤ちゃんへ最初の絵本をプレゼントする事業

ご協力ありがとうございました。

滝川市子どもの読書活動推進検討委員会 名簿

(五十音順・敬称略)

No.	氏 名	所 属
1	安藤 暁子	滝川市手をつなぐ育成会
2	井内 三希子	滝川幼稚園保護者会
3	今村 志緒里	滝川白樺幼稚園保護者会 副会長
4	大谷 久美子	滝川市議会議員
5	尾崎 敦	滝川市 PTA 連合会 会長
6	片岡 喜恵子	滝川市地域活動連絡協議会 会長
7	川村 克巳	図書館ボランティア「ブックフレンド」
8	柴尾 智子	図書館ボランティア「ブックフレンド」
9	座長 土居 幸一	滝川市社会教育審議会 会長
10	船奥 幸代	図書館利用者代表
11	松井 牧子	滝川市校長会 副会長 (滝川市立東小学校長)
12	松村 澄絵	國學院大學北海道短期大学部 幼児・児童教育学科 准教授 (特別専任)
13	水口 典一	滝川市青少年育成会連絡協議会 会長
14	森 昌之	滝川市立図書館 館長

滝川市子どもの読書活動推進計画

発 行 平成26年3月

発行者 滝川市教育委員会

編 集 滝川市立図書館

滝川市大町1丁目2番15号

電 話 (0125) 22-4646

FAX (0125) 23-1284

E-mail: tosyo@city.takikawa.hokkaido.jp



本を読んで大きくなあれ!!